

<問い合わせ状況 2025 年 2 月>



院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5 ～10 件程度の問い合わせに対応しています。2 月の疑義照会は 5 件で、内容は以下の通りでした。



- 残数調整
- その他（4 件）
 - ・FAX された処方箋が足りない
 - ・温シップ処方されているが、本人がモーラス[®]を希望している
 - ……………など

薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

2 月は同じ方から 2 件質問がありました。

- ・退院時もらった薬の中に下剤はあるのか？
- ・退院時もらった薬の内容を知りたい



薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してある DI 室への問い合わせは、2 月は 10 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります）。

◎がついたものについては回答を DI ニュース No. 465 に記載しています。

- ネグミン[®]シュガーとアクトシン[®]軟膏は混合できるか？
→配合試験を行っていないためデータ無し。使用した報告はある。
- ◎ジクロード[®]点眼は術後どのくらいの期間使用するか？
- ◎その期間を超えた場合の保険査定は？
- ◎期間を超えて長期間使用した場合のデメリットは？
- ケイキサレート[®]ドライシロップは注腸できるか → 不可
- ◎ケイキサレート[®]ドライシロップが注腸不可である理由は？
- ドルミカム[®]注をサデーションで使用する場合の使い方は？ → 0.5mg/h くらいから開始
- アシクロビルの腎機能の指標は？ → クレアチニンクリアランスだが eGFR も可
- ◎クレナフィン[®]液は 1 本で何日分になるか
- チエナム[®]注は生食 2 ポートに刺しにくい → 特殊な構造ではないのでそのような報告は無い

